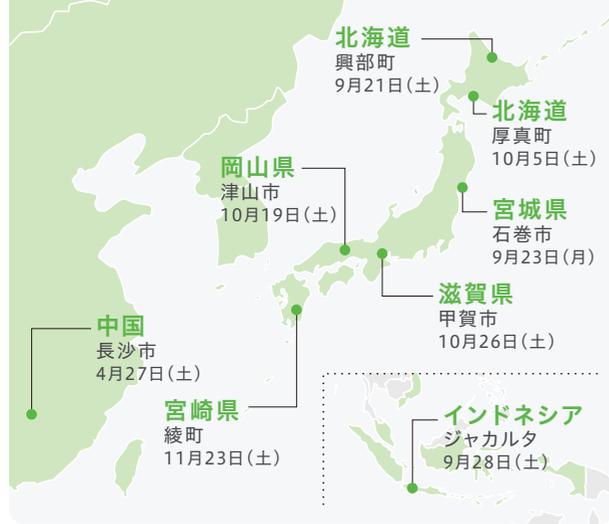


植樹 (イオンの森づくり)

自然災害や伐採などで失われた森林の再生
防炎林の再生、気候変動課題の解決などを目指し
国内及びアジアを中心とした世界各地で地域の
ボランティアの皆さまと植樹を行っています。

2024年度の主な植樹・育樹計画



2024年度の主な植樹・イベント予定

| | |
|------------------|---------------|
| 北海道興部町植樹 | 9月21日(土) |
| 宮城県石巻市植樹 | 9月23日(月) |
| インドネシア ジャカルタ植樹 | 9月28日(土) |
| 北海道厚真町植樹 | 10月5日(土) |
| 岡山県津山市植樹 | 10月19日(土) |
| 滋賀県甲賀市育樹 | 10月26日(土) |
| 宮崎県綾町育樹 | 11月23日(土) |
| イオンSATOYAMAフォーラム | 2025年2月18日(火) |



里山。
それは人と
自然が共生し、
未来へつながる
大切な場所。



新しい里山づくりを目指して

公益財団法人イオン環境財団は
1990年の設立以来、ボランティアの
皆さまと共に、いのちあふれる豊かな
森の再生を目指し、世界各地で植樹を
実施してまいりました。

これまでの植樹本数は1,268万本^(*)を
超えています。

みどりが再生し多様な生物が宿るいのち
あふれる森を創造し、人と自然が共生する
地域が求める「新しい里山」づくりを目指して
います。

※2024年2月時点



北海道南富良野町植樹

公益財団法人 イオン環境財団

〒261-8515 千葉市美浜区中瀬1-5-1
TEL.043-212-6022
FAX.043-212-6815
E-mail ef@aeon.info
<https://www.aeon.info/ef/>



ホームページ



Facebook



Instagram





助成先 水沢森人の会による竹林整備(神奈川県)

助成

人と自然の望ましいバランスを取り戻すことで
地球環境の持続性に貢献する開かれた里山づくりを目指し
世界各地で積極的に取り組む非営利団体に対して
毎年総額1億円の助成支援を行っています。

助成実績【第1回(1991年)～第33回(2023年)】



2024年度予定

第34回(2024年度)助成公募 実施概要
テーマ「里山 commons の再生」

■公募期間：2024年6月～7月

■活動対象期間：2025年4月1日(火)～2026年3月31日(火)

詳細はホームページの右記のQRコードから
アクセスしてご応募下さい。



ユネスコエコパーク志賀高原エコツアー

環境教育・共同研究

大学をはじめとしたさまざまな機関と連携し
里山に関する共同研究を行うとともに
環境分野で活躍する人材を育成していくための
プログラムや学びの場の提供を行っています。

■ユネスコエコパークとの連携

自然と人間社会の共生に重点を置くユネスコ
エコパークの理念に賛同し、持続可能な
利活用の調和を目指しています。



ユネスコエコパーク志賀高原エコツアー

■ジオパークとの連携

人と自然資本(地質遺産)との共生及び各ジオパーク所在
の地域の発展に寄与することを目的としています。



三陸ジオパーク 八戸大須賀海岸ビーチクリーン(青森県)

■大学連携

持続可能な社会の実現に
向け、早稲田大学、東京大
学、東北大学、京都大学、
千葉大学の5大学と連携し、
地域が求める里山づくりを
推進します。



東北大学 どんぐりひろい(宮城県)

グローバルユースミドリプラットフォーム

国連大学と連携し、グローバルで活躍する環境リーダーの育成を目的
とし、最終的に国際会議の場で提言する機会を提供しています。

■イオンSATOYAMAフォーラム

新しい里山の可能性と価値
を創造するため、里山に関
して連携し共同研究をして
いる大学と、これまでの活
動や研究成果から得た知見
をもとに、人と自然の望まし
いバランスを研究し里山の
新たな可能性を見出し、
発信する本フォーラムを
実施しています。



第1回イオンSATOYAMAフォーラム登壇者

第2回は2025年2月18日開催予定



第2回みどり賞授賞式(インド・ハイデラバードCOP11会場 2012年)

顕彰

The MIDORI Prize for Biodiversity
生物多様性みどり賞



生物多様性条約事務局^(※)と連携し
2010年の「生物多様性条約第10回締約国会議
(COP10)」日本開催を契機に創設し
顕著な環境活動が認められる個人を顕彰しています。

※生物多様性条約事務局(The Secretariat of the Convention on Biological Diversity)

受賞者の
活動紹介 **第3回生物多様性みどり賞受賞者**
ビビアナ・ヴィラ氏(アルゼンチン)

■ビクーニャの保全と管理

経済的価値が高いビクーニャの体毛の利用を通じた
地域コミュニティの支援や
環境教育の実施を統合し、
野生生物の保全と地域コ
ミュニティの安定的発展の
両立を実現しています。

